

10月4日(土)

サーモン
まぐろ イカ
海老 鯛
太刀魚

赤酢舎利を使った 海鮮巻き

1パック

1,280^(税込)
円



10月5日(日)



1パック

1,280^(税込)
円

歩久斗の北海丼

8種の北海ネタをドーンと乗せた

さてさて、今回は土、日曜日とおすすめしていきます。
土曜日は、海鮮巻き。当店人気の巻物です。前回大人気だった赤酢舎利を使用。そして、みんなが大好きな海鮮を巻き上げます。
日曜日は、歩久斗の北海丼。皆さん題名、お気づきですか?「ほくとのほっこいどん」…ほくと、ほっこい:店長と歩久斗さんとの会話から:「ん?」と思ひたのですが、おそらくかけたんだと(笑笑)。2人で盛り上がりお楽しみください。

北海丼をドーンと販売します。海鮮たっぷり。もちろん今が旬の炙り秋刀魚!今年はかかせません。そして、カニもトッピング。8種の海鮮をお楽しみください。

西田鮮魚店 副店長 越道 裕子



西田鮮魚店

872-5246

御用聞き便専用番号 090-7125-5489
(旧庄原市内はご自宅に配達)

六角精児さん

庄原で応援ライブ

鮮コープレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

I 芸備線魅力創造プロジェクト

中国新聞。6月24日の朝刊22面に、六角精児がライブ演奏している写真が載っていた。来たのか庄原へ。

会場は西城の『ウイル』。

県内外から250人が詰めかけ、リモートでも110人が参加したと書いてある。知らなかつた。

『芸備線魅力創造プロジェクト』という市民団体がクラウドファンディングを募り招いたそうだ。聴きたかった。『呑み鉄』で知られる六角精児だ。おととしの9月23日の秋分の日にも、同じように芸備線の存続運動の応援にジョイフルで講演されている。この時も野暮用で行けなかつた。今はあのころ以上に六角精児にはまつてゐる。残念だ。

II ふんわり

私はNHKのR1(第一放送)で毎週月曜日から金曜日の8時30分から11時45分までやつてゐる『ふんわり』という番組をよく聞いてゐる。以前は金曜日の黒川伊保子が一推しだつたのだが、今は木曜日の六角精児に変わつた。肩の力が抜けている。実にいい感じで抜けている。飽きない。美人といケメンは3日で飽きる、その逆は3日でなれるという。見れば見るほど、聞けば聞くほど引き込まれた。

III 六角精児

水谷豊の『相棒』の鑑識官役で知つた。それまでも端役で顔は見たような覚えがあつた。どことなく、ひょうひょうとして、つかみどころのない印象だつた。今でもそれは変わらないが、彼のトークを聞くと、懐の深い役者なんだと思い知らされる。

六角精児は小劇場の舞台役者。ふつう舞台役者で食つていくのは大変らしい。六角精児は、典型的な舞台役者だつたみたいだ。『ふんわり』でも当時をおもしろおかしく話す。

結婚、離婚を繰り返し、今の奥さんで4人目のはずだ。その事実だけでも、六角精児のダメさがうかがえる。ただ、そのダメさがまつとうなのだ。純粹といつてもいいかもしない。だからだろう仲間、友達は多かつたという。もつとも、その仲間も役者仲間。同じ穴のムジナだつたのかもしれないが。

『ふんわり』に昔のそうした仲間を呼んでトークする。下積みのころの話に花が咲く。やっぱり、舞台役者つて大変なんだ。でもこれが嬉しい、おもしろい。今ではみんなそれなりに売れてゐる。私は、どのゲストの名前も知らなかつたが、ネットで写真を見たら、ああこの人かとわかつた。ドラマのわき役で見知つた人ばかり。他人事ながらよかつたよかつた。

IV 六角精児バンド

六角精児は『六角精児バンド』という自分のバンドを持つている。西城に来たのはそのバンドだろうが、このバンドの歌は聴かせる。彼の芸風そのものといつてもいいかもしない。飾らない等身大とネットにあつたが、その通りだ。高田渡のにおいがする。



例えば『お父さんが嘘をついた』という曲。彼のすこしこもつたような声と身につまされる歌詞とボサノバのリズム。絶妙だ。すぎもとまさととは違つた意味で沁みてくる。自分をそのまま歌にしたらしい。

一心の狭間を突いてくる ギャンブルという名の射幸心
年つきあつて確信がもてた そう負ける負けるどのみち
負ける 深みに嵌まれば人格が壊れる 今日もおいらは
どこかで負ける

二 若い頃からの偏食が祟り 尿酸値が異常に高い 痛風になつたようだ 医者から食事制限を告げられる でも好きなものはなかなかやめれず 塩辛エイヒレあん肝このわた 今日もおいらは痛風におびえる

三 この頃なんかのはずみで 生活にすこし余裕ができるやつた 吞み屋に行つても好きなものがあれこれ頼める
も体を思うと好きなものは頼めず 人にすすめる魚卵や ホルモン それをおいらは横からもらう からすみ全国の珍味 高まる尿酸できる結石 結石がおりて震える尿道 冷や汗激痛訪れる無力感 今日もおいらはなんと生きてる

V 「ふんわり」で語った芸備線

六角精児の鉄道オタクぶりも半端ではない。

『ふんわり』でも音楽と鉄道の話になると嬉々として話す。NHKのBSで流れる『六角精児の呑み鉄本線・日本旅』は8年も続く人気番組だ。こんなご縁が今回の西城でのライブにつながつたのだろう。

9月26日。広島への車中。『らじる★らじる』の『聞きのがし』で前日の『ふんわり』を聞く私の耳に飛び込んできたのは六角精児の『今週のおれ』というコーナーで話す芸備線、庄原、西城という単語。こんな風に話していた。

【広島の方】に行きました。広島の方は中にに入る備後庄原とか備後西城とかあるんですけど、芸備線の沿線に行つて、で、その備後西城という駅があつて、そこの駅の施設でコンサートをやつてきました。まあトークショーというかコンサートというか。

まあ全国いろいろとローカル線が大変だという、芸備線もその中のひとつで、その芸備線をなんとかしようとしてらつしゃる方々がいらっしゃるんですね。で、その人たちに依頼されて、まあ僕でよかつたら、という形で行つて、コンサートしながら盛り上げようと。

まあ確かにね、あの、僕、部外者といつたら部外者で、ただの鉄道ファンだし、まあ、その沿線の人じやないんですけど、まあ行つたから、その時は盛り上がるんだけど、その後はどうなるかということになつちやうんですけども。

たとえ過性のものでも、まあ為になつてくれればと思つて行つたんですけど。やっぱねえローカル線の人たちが、沿線の人たちがいろいろ考えて、ええ、必要が必要じゃないかと考へてほしいなと思つていてから。それとやっぱり自分なりに訴えて、まあ部外者ですけど行つたんですけどね。

これからどうなるか、ちょっとわからんんですけども、こういうことに関しては、いろいろみんなが考えていただきたいなと思いますよね。ホントにこういうことに関してはね。】

まだまだ話は続いた。NHKの全国放送。しかも人気番組。『芸備線魅力創造プロジェクト』のみなさんのせつかくの活動を一過性の盛り上りにすることのないように、知恵を出し合つていきたいものだ。